

# 有 本 建 男 教授

Academic Year 2017 (2017.4.1~2018.3.31)

- 役 職：博士課程科学技術イノベーション政策プログラム・副ディレクター、  
科学技術イノベーション政策研究 (SciREX) センター副センター長
- 専門分野：科学技術イノベーション政策・政策史、研究ファンディング制度・マネジメント、  
科学的助言制度
- 学 位：修士 (物理化学)、京都大学大学院
- 略 歴：1974 年 京都大学大学院理学研究科修士課程修了、科学技術庁入庁  
科学技術庁研究振興局科学技術情報課長、原子力局廃棄物政策課長  
科学技術政策局政策課長、宇宙開発事業団ロス・アンジェルス所長  
海洋科学技術センター企画部長、日本原子力研究所広報部長  
理化学研究所横浜研究所研究推進部長、内閣府大臣官房審議官 (科学技術政策担当)  
文部科学省大臣官房審議官 (生涯学習政策担当) 等
- 2004 年 文部科学省科学技術・学術政策局長
- 2005 年 内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官
- 2006 年 独立行政法人科学技術振興機構社会技術研究開発センターセンター長
- 2012 年 4 月 本学教授 (現在に至る)  
(兼) 科学技術振興機構・研究開発戦略センター上席フェロー。

## 1. 業 績 (A)

- (1) 図 書 (共 著)
- \* 『21 世紀地球社会における科学技術のあり方』(公財) 国際高等研究所、2017 年 6 月、  
研究代表者・著者。
  - \* 『「治し支える医療」へ向けて、医学と社会の大転換を』第 30 回日本老年学会総  
会講演、日本老年学会、2018 年 3 月
  - \* 『研究開発の俯瞰報告書—主要国の研究開発戦略 (2018 年度)』とりまとめ総括
- (2) 雑誌論文 (単 著)
- \* “Science in a changing world”、Physics World 誌、英国物理学会(Institute of Physics)、2018  
年 3 月号
  - \* 「SDGs と科学的助言：科学と政治の架橋」、『学術の動向』、(公財) 日本学術協力財団、  
2018 年 1 月号
- (3) 学会発表、講義など
- \* 講演、日本化学会総会、SDGs 論説フォーラム、「SDGs のための化学、化学のための  
SDGs (21 世紀の科学を変革する)」、日大船橋キャンパス、2018 年 3 月 21 日。
  - \* 講演, lecture to EU S&T Counsellors and S&T Diplomatic Circle members, SDGs and Japanese  
STI Policy, EU 駐日代表部, 2018 年 3 月 16 日。
  - \* 講義、大学トップマネジメント研修、「21 世紀の世界・科学技術・大学・人- 科学と政  
策の架橋 -」、GRIPS、2018 年 3 月 11 日
  - \* ワークショップ「自然科学と人文・社会科学との連携を具体化するために」、総括責任  
者、科学技術振興機構、2018 年 3 月 7 日。パネリスト、「いま世界が直面する持続可能な

- 開発目標（SDGs）等の課題解決にイノベーションは何ができるか？」、サイエンスアゴラ 2016、科学技術振興機構、2016年11月3日
- \* セッションスピーカー、“Science for Sustainable Development Goals: Key Lessons and Gaps”, AAAS 2018 Annual Meeting, Hynes Convention Center, Austin, USA, 2018年2月17日
  - \* セッションスピーカー、内閣府 SIP 自動走行システム・2017年度第2回市民ダイアログ「未来社会と MaaS」、東京大学生産技術研究所、2018年2月5日
  - \* セッションスピーカー、広島大学フェニックスリーダー育成プログラム第7回国際シンポジウム、「放射線災害復興学における課題と展望」、広島大学、2018年1月28日
  - \* 講演、黒岩神奈川県知事ほか幹部、「SDGsに関する政策研究会」、神奈川県庁、2018年1月23日
  - \* 講義、「科学技術インタープリター養成プログラム」、東京大学、2017年12月16日
  - \* パネリスト、Workshop on Science, Technology and Innovation for SDGs, “STI roadmaps incorporating SDGs and their implications for policy and capacity Building”, 国連経済社会理事會、Incheon, Korea, 2017年11月—12月1日
  - \* 講義、政策研究大学院大学、ベトナム科学技術省・地方自治体科学技術担当行政官向け研修、2017年11月27日
  - \* モデレーター、科学技術振興機構（JST）サイエンスアゴラ、セッション「国連・持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて科学と政策をどうつなげるか？～日本及び世界での政策決定への科学的助言の取組み～」、日本科学未来館、2017年11月25日
  - \* 講義、政策研究大学院大学、インドネシア研究科学技術高等教育省研修、2017年11月20日、21日
  - \* Speaker, World Science Forum 2017, Plenary session “Rebuilding broken societies through reconstruction and recovery”, King Hussein Bin Talal Convention Centre, Jordan, 2017年11月10日
  - \* パネリスト、SIP 自動走行システム 2017年度第1回市民ダイアログ「モビリティと都市デザイン」、東京モーターショー・東京ビッグサイト、2017年11月3日
  - \* 講義、東京工業大学専門教養コース、「科学技術社会論」、東京工業大学大岡山キャンパス、2017年11月1日
  - \* パネリスト、「オールラウンド型思修館リーディングプログラム」 総括シンポジウム、パネルディスカッション、京都大学、2017年10月18日.
  - \* セッションスピーカー、15th Globelics International Conference, “Donor support for science and innovation in LMICs’ ”, The National Center for Scientific Research, Athens, Greece, 2017年10月11日
  - \* セッションスピーカー、World Bank, Inaugural Global Innovation Forum in Singapore, “GovTech: Promoting Innovation to Improve Public Service”, INSEAD Singapore、2017年10月6日
  - \* セミナー講演、世界銀行「持続可能な開発目標（SDGs）のための科学技術イノベーション（STI）：世界銀行グループの取り組み」、”Outline of Japan’s Efforts on STI for SDGs” 世界銀行東京事務所、2017年10月2日
  - \* フォーラム・オーガナイザー、8th EU-Japan Science Policy Forum, “Evidence Based STI Policy”, Kyoto Hotel, 2017年9月30日

- \* Discussant, Babbage Symposium, “Science, Innovation and Industry”, University of Cambridge, 2017年9月27日、28日
- \* 基調講演、Asian Society for Innovation and Policy 2017 Hanoi conference, “Society 5.0 and Japan’s STI Policy in the Changing World”, National Economics University, Hanoi, Vietnam, 2017年9月21日
- \* セッションスピーカー、INGSA・Tufts University, 22nd International Dialogue on Integrating Science & Technology Advice into Foreign Ministries, “Donor countries and the SDGs from Japan’s perspective”, Tufts University European Center, France, 2017年9月16日
- \* Discussant, INGSA Strategy Meeting, Wellcome Trust, London, 2017年9月11日
- \* 講演、関西公共政策研究会、「科学的助言-21世紀における政策形成と科学技術-」、京都大学、2017年9月2日
- \* 講演、日本学術会議・SDGs対応分科会、「国連持続可能性目標（2030 Agenda）と日本の科学技術の寄与-日本学術会議への期待-」、日本学術会議、2017年9月1日
- \* 基調講演、広島大学国際シンポジウム、「国連SDGs『持続可能な開発のための2030アジェンダ』とフェニックス人材」、キャンパス・イノベーションセンター東京、2017年9月1日。
- \* 講演、岡山大学及び日本学術会議若手アカデミー主催、講演及びワークショップ、「国連持続可能性目標（2030 Agenda）と日本の科学技術の寄与」、岡山大学、2017年8月31日
- \* コメンテーター、国連主催、HIGH-LEVEL POLITICAL FORUM ON SUSTAINABLE DEVELOPMENT、NY国連本部、2017年7月13日-14日
- \* 特別講演、第30回日本老年学会総会、「高齢社会と21世紀科学技術の責務—価値観・方法・評価の変革」、名古屋国際会議場、2017年6月15日
- \* Speaker and mentor, INGSA, South East Asia Government Science Advice Workshop, “Science Advice in Emergencies”, Johor Bahru, Malaysia, 2017年6月12日
- \* セッションスピーカー、Innovation & Impact Summit 2017, “Models of strategic leadership: Turning ideas into Impact”, The Hong Kong Polytechnic University, 2017年6月1日
- \* 講義、同志社大学、公共政策II「科学技術イノベーション政策論」、2017年5月27日～6月11日（連続講義）
- \* 講演、日本パグウォッシュ会議第1回諮問会議、「INGSA(International Network for Government Science Advice)の活動概要とパグウォッシュ会議活動について」、広島大学東京オフィス、2017年5月26日
- \* 講義、政策研究大学院大学、タイ PMLTP 研修、「科学技術イノベーション政策」、2017年5月24日
- \* パネリスト、Official side event to the 2nd Annual Multi stakeholder Forum on Science, Technology and Innovation for the Sustainable Development Goals, “Innovation strategies: Designing national policies that use innovation to meet the SDGs”, NY国連本部、2017年5月16日
- \* 講義、京都大学大学院生存学館、平成29年度「熟議II前期」、2017年4月15日から6月24日（連続講義）
- \* 講義、政策研究大学院大学、ベトナム共産党副大臣級幹部研修、2017年4月13日

- \* 講演、新化学技術推進協会特別フォーラム「SDGs とイノベーション」2017年4月6日
- \* パネリスト, AAAS, Science Diplomacy 2017, “Science, Technology, and Innovation for the Sustainable Development Goals”, Washington DC, 2017年3月29日

## 2. 教育

### (1) 講義

- \* Science, Technology and Innovation Policy in Japan: Past, Present and Future (Fall)
- \* タイ研修 (PMLTP Program)、ベトナム、インドネシア政府幹部などへの講義

### (2) 論文指導

- \* 公共政策プログラム：博士課程1名（副指導）
- \* 科学技術イノベーション政策プログラム：博士課程4名（副指導）

### (3) その他

- \* SciREX センター・インターン学生（7人程度、数か月）：教育指導

## 3. 管理・運営への関与

- \* 博士課程・科学技術イノベーション政策プログラム・副ディレクター
- \* GRIPS 科学技術イノベーション政策研究 (SciREX) センター・副センター長.
- \* 科学技術イノベーション政策コース (GIST) セミナー：企画実施
- \* SciREX セミナー (科学技術イノベーション政策研究センター)：企画実施
- \* 文科省若手幹部研修コース：企画実施

## 4. 社会的貢献 (A)

### (1) 他大学・研究所等における活動

#### ① 非常勤講師

- \* 同志社大学客員教授（2005年～）「科学技術イノベーション戦略」、15コマ/年
- \* 早稲田大学客員教授（2008年～）「理工文化論」、2コマ/年
- \* 東京大学非常勤講師（2007年～）「科学技術と社会」、2コマ/年
- \* 東京工業大学非常勤講師（2011年～）「科学技術と社会」、2コマ/年
- \* 京都大学特任教授（2013年～）「科学技術と社会」、8コマ/年
- \* 広島大学客員教授（2016年～）講義とシンポジウムなど
- \* 兵庫県立大学客員教授（2014年～2016年）「科学技術と社会」（英語）、12コマ/年

#### ② 委員会等

- \* 広島大学、経営協議会委員（2007年～17年）、学長選考会議外部委員（2010～17年）4回程度/年、特別顧問（2017年4月～）1回程度/年
- \* 広島大学リーディング大学院・フェニクスプログラム・客員教授 2回程度/年
- \* 東京大学、政策ビジョン研究センター顧問、（2009年～）2回/年
- \* 京都大学リーディング大学院・思修館、外部評価委員長（2014年～）
- \* 東京大学、フotonサイエンス・リーディング大学院外部評価委員（2012年～）3回程度/年
- \* 東京大学高齢化研究機構 外部諮問委員（2012年～）1回程度/年

### (2) 企業、財団法人等における活動

- \* 本田財団業務執行理事（2011年～）
  - \* キャノン財団研究助成選考委員（2009年～）、研究課題の審査
  - \* 東レ科学振興会評議員（2010年～）
  - \* 仁科記念財団評議員（2011年～）
  - \* ロッテ財団研究評価委員（2013年～）、研究課題の審査
  - \* 国際高等研究所副所長（けいはんな文化学術研究都市）、21世紀地球社会における科学技術のあり方研究会代表（2015年～）
  - \* 武田計測先端知財団・科学技術国際戦略検討委員会委員長（2009年～）、国際政策対話プロジェクト：「アジアにおける科学技術の地域連携」諮問委員会委員（2011年～）
- (3) 学会等における活動
- \* 日本化学会会員（2005年～）
  - \* 日本工学アカデミー会員（2006年～）、理事・政策委員（2014年～）
  - \* 研究・技術計画学会会員（2012年～）、副会長（2013年～2014年度）、研究イノベーション学会会員（改組）・参与（2015年度～）
  - \* 科学技術社会論学会会員（2014年～）
  - \* 日本パグウォッシュ会議会員（2016年～）
  - \* 品質工学会会員・監事（2014年～2016年）
- (4) 審議会における活動
- \* 文部科学省：科学技術学術審議会・研究評価部会委員（2007年～2016年）
  - \* 文部科学省・科学技術政策研究所：定点調査委員会委員（2007年～2016年）
  - \* 内閣府 SIP プログラム・自動走行プロジェクト・副プロジェクトディレクター（2014年～）
  - \* 経済産業省・国土交通省：自動走行ビジネス検討会委員（2014年～）
  - \* 経済産業省・NEDO 自動走行プロジェクト・評価委員（2017年～）
  - \* 外務省「科学技術外交推進会議」委員（2015年～）
  - \* 内閣府総合イノベーション会議・SDGs タスクフォース委員（2017年～）
- (5) その他
- \* OECD「政策形成のための科学的助言」プロジェクト共同議長（2013年～）及び、「研究費制度」プロジェクト共同議長（2016年～）
  - \* 国際科学的助言者ネットワーク（INGSA）プログラム委員会委員（2015年～）
  - \* 国連持続可能性開発目標 2030 アジェンダ・STI フォーラム、日本代表（外務省からの依頼）

## 5. 社会的貢献（B）

ジャーナリズムでの発言

- \* 『『豊洲安全宣言出して』 風評払拭へ業者側迫る 小池知事は慎重』、有本建男、読売新聞夕刊、2017年9月9日